



Tokushima University

Library

Annual Report 2024-2025



徳島大学附属図書館 年次報告書

令和6年度

目 次

はじめに.....	1
I Topics.....	2
1 教育支援.....	2
2 研究支援.....	4
3 社会貢献.....	6
4 その他.....	7
II 統計.....	8
1 利用・サービス.....	8
(1) 開館日・開館時間	(8) レファレンス件数
(2) 年間開館日数及び開館時間数	(9) 学内文献複写件数
(3) 入館者数	(10) ラーニング・COMMONZ等利用件数
(4) 利用対象者数	(11) 電子ジャーナル利用件数
(5) 貸出	(12) データベース利用件数
(6) 学外文献複写件数	(13) 電子書籍利用件数
(7) 学外現物貸借件数	(14) 講習会
2 蔵書.....	13
(1) 蔵書数【図書】	(4) 電子ジャーナル
(2) 蔵書数【雑誌】	(5) 徳島大学機関リポジトリ
(3) 電子書籍	
3 施設・設備.....	15
(1) 施設について	
(2) 座席数	
4 経費.....	16
(1) 大学総経費に占める大学資料費の推移	
(2) 学生用図書費の推移	
(3) 令和6年度の主な施設整備及び環境整備等	
III 運営体制.....	17
1 組織.....	17
2 自己点検・評価.....	18
3 委員会活動.....	19
4 職員研修等.....	25
IV 図書館の主な行事.....	27
V 広報.....	30
1 出版物等.....	30
2 報道等.....	30
徳島大学附属図書館の理念・目標と評価指標.....	31

【表紙写真】

上：講演会「オープンアクセスの意義と動向：義務化、OA 雑誌、そしてハゲタカ etc.」

下：研修会「研究データ管理研修：GakuNin RDM 実習」

いずれも文部科学省「オープンアクセス加速化事業（令和5年度補正予算：人工知能等社会実装研究拠点事業補助金）」により実施。

はじめに



附属図書館長
大高 章

徳島大学附属図書館では、令和6年度に取り組んだ活動について、本冊子にて「教育」「研究支援」「社会貢献」の観点からご紹介いたします。各活動の詳細につきましては冊子の記述に譲り、本稿では図書館を取り巻く最近の情勢、とりわけ令和6年度に採択された「オープンアクセス加速化事業」を中心にご紹介いたします。

近年、科学研究の成果およびその根拠となるデータの公開を通じて、研究成果やデータの利活用を促進し、新たな知識の創出や地球規模の課題解決を目指す「オープンサイエンス」の推進が、世界的な潮流となっています。徳島大学も文部科学省の「オープンアクセス加速化事業」に採択され、リポジトリ機能の強化、オープンアクセス出版の推進、啓発活動、研究データ管理支援、推進体制の整備など、多岐にわたる事業を展開してまいりました。

これらの事業は附属図書館が窓口となって推進いたしましたが、オープンアクセスへの積極的な取り組みは、最終的には「オープンサイエンス」を起爆剤とした研究力の強化、ひいては大学の発展に資するものと考えております。こうした背景を踏まえ、令和6年度末には「オープンサイエンス推進組織設置ワーキンググループ」が開設されました。本ワーキンググループは、附属図書館内にとどまっていた「オープンサイエンス」関連事業を、全学的な関心事項として広く展開し、大学全体の発展を目指すために設置されたものです。

多くの皆様が「オープンサイエンス」に関心を持っていただけることを心より願っております。

I Topics

1 教育支援

■ガイダンス等

(1) オリエンテーション

新入生オリエンテーションでは、3 学部を対象に対面で図書館利用案内を行った。また、1 学部を対象に図書館での実習を交えたオリエンテーリングを実施した。その他の学部については資料を配布するとともに、図書館ホームページに本館および蔵本分館の館内案内動画を掲載し、入館方法や貸出手続き等の説明を補足した。

(2) 文献検索講習会・データベース講習会

- ・レポート・論文作成に役立つ資料の探し方講習会
(対面、オンライン 4 月 17 日～12 月 11 日)
- ・CAS SciFinder 講習会
(対面 6 月 27 日、オンライン 11 月 18 日)
- ・その他希望に応じた講習会を実施した。



■自宅学習等支援

(1) 電子書籍の整備

自宅等キャンパス外での資料活用を促進するため、電子書籍の整備を進めている。令和 6 年度は学長裁量経費 4,983 千円の交付があり、他経費分と合わせて電子書籍 486 タイトルを購入した。

また、令和 4 年度から契約を開始したメディカルオンラインの年間購読を継続し、令和 6 年度末時点では 8,083 タイトルが利用可能となった。

(2) 医書.jp オールアクセスの導入

令和 6 年 7 月から医学・医療分野の国内電子ジャーナルパッケージである医書.jp オールアクセスを導入し、約 120 タイトルが利用可能となった。

(3) 動画による利用案内の充実(分館)

蔵本分館の館内案内動画について撮り直しを行い、室内を見渡す映像や字幕を増やした。

■授業サポートナビ

学生の能動的な学習と図書館資料とを結びつける試みとして、各授業のシラバス掲載図書等について、担当教員のコメントを入れたパスファインダーを配布している。本館では分野別 9 分野と授業別 7 科目、分館では 82 科目を登録しており、専門科目ごとに図書を別置したコーナーを設けている。

■英語多読

平成 28 年 11 月に本館 1 階に設置した多読コーナーは、蔵書 1,723 冊となり、TOEIC スコアや就活等のスキルアップを目的として学生を中心に利用されている。

さらなる利用促進のため、シリーズ内容の解説掲示や SNS での発信を積極的に行っている。令和 6 年度は延べ 377 冊の貸出があり、多読ラリーには 15 名が参加した。

■分館の電源コンセント増設、ラーニング・コモンズの環境整備

蔵本分館の北学習室について、個別ブースにコンセントを増設した。また、ラーニング・コモンズには、移動式の大型モニターを新たに設置し、座席数も 6 席追加した。椅子の一部更新や机の仕切り撤去も実施し、学習環境を整備した。

I Topics

1 教育支援

■学生サークルとの連携

図書館で活動する学生サークル 2 団体の活動に対して、助言等を行った。

(1) 学びサポート企画部

学習相談窓口 (Study Support Space) を 152 日開室し、167 名の相談を受けた。また、新入生お悩み相談会や教員と学生のしゃべり場など学習関連イベントの実施や、大学教育カンファレンスでの発表を行った。

(2) 阿波ビブリオバトルサポーター

全国大学ビブリオバトル 2024 地区予選及び地区決戦を主催した。また、年間を通じてビブリオバトルや読書会を行った。

■ブックハンティング

学生のニーズを蔵書に反映する取り組みとして、学生が書店で本を手にとって選ぶブックハンティングを平成 20 年度から毎年実施している。

実店舗での実施とあわせて、書店 Web サイトから図書を選ぶ方式を併用することで、より多くのニーズを取り込むことを目指した。

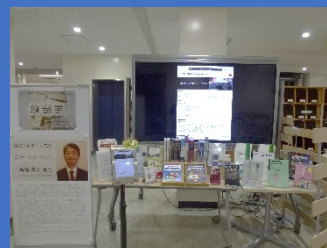
本館、蔵本分館で計 5 回 (実店舗 4 回、Web 選書 1 回) 実施した結果、101 名が参加し、410 冊の図書を購入した。



■テーマ展示

本館では、国立大学図書館協会中国四国地区協会参加館で実施した防災意識醸成活動の一環として、防災関連の図書展示を行った。

蔵本分館では、「生活習慣病」、「神経疾患とその周辺領域」「解剖学」等のテーマで専門分野の教員監修による展示や図書館職員による展示を計 5 回実施した。



■My Recommendations

教員、学生のおすすめ本を紹介文とともに展示し、新しい本に出会うきっかけを作っている。令和 6 年度は、本館で延べ 56 冊、分館では延べ 186 冊となった。

■学生推薦「これ読んでみんで？」

蔵本地区学生からの要望により平成 29 年度から開始した企画であり、リクエスト本を中心に学生が書いた推薦コメントを添えて本棚に展示している。令和 6 年度は 21 冊の推薦コメントがあった。



■オープンアクセス加速化事業

本学のオープンアクセスを推進するため、文部科学省「オープンアクセス加速化事業（令和5年度補正予算：人工知能等社会実装研究拠点事業補助金）」に申請し、採択された。リポジトリの機能向上、オープンアクセス出版推進、オープンアクセスの啓蒙、研究データ管理支援、オープンアクセス推進体制の整備などを目的として、以下の事業を実施した。

(1) リポジトリの機能向上

① 「「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（統合イノベーション戦略推進会議、令和6年2月16日決定）では、公的資金（令和7年度から新たに公募を行う競争的研究費）による学術論文及び根拠データの即時オープンアクセスが定められている。これに対応するため、機関リポジトリシステムを旧システムから JAIRO Cloud へ移行した。

あわせて、リポジトリのストレージ容量を基本容量である 100GB から 400GB へと増強した。また、機関リポジトリシステムの移行に伴い、旧リポジトリシステム上で構築していた徳島大学教育・研究者情報データベース（以下、「EDB」という。）との連携システムについても再構築した。これにより、機関リポジトリシステム移行後も、登録促進や、EDB からのデータ流用による業務の省力化が可能となった。

② 附属図書館所蔵貴重資料の内、これまでデジタル化されていなかった「山西家文書」及び「近世古地図・絵図コレクション」の一部についてデジタル化を行い、リポジトリへ登録した。これにより、資料のアクセシビリティ向上及び利活用促進が図られた。



(2) オープンアクセス出版推進

学術論文のオープンアクセス出版に要する費用（Article Processing Charge : APC）について、学術雑誌評価指標の一種である CiteScore の高いジャーナルへの掲載や、若手研究者・女性研究者等の支援など、複数の観点による補助制度を実施した。令和6年8月26日から12月20日の期間において、教員27名による27報の論文に対し、APCの補助を行った。

(3) オープンアクセスの啓蒙

① オープンアクセスに関する講演会「オープンアクセスの意義と動向：義務化、OA雑誌、そしてハゲタカ etc.」を対面及びオンライン配信のハイブリッド形式で開催した。同志社大学の佐藤翔教授を講師に招き、オープンアクセスの意義や歴史的な背景、学術論文等の即時オープンアクセス義務化、論文掲載料の詐取を目的とした悪質な学術雑誌（いわゆるハゲタカジャーナル）等、オープンアクセスに関して多岐にわたる内容で講演が行われた。

I Topics

2 研究支援

講演会には、学内外から大学教職員や学生等多数の参加があり、質疑応答では講演内容に関する多数の質問がされるなど、高い関心が見られた。(257名参加、1月23日)

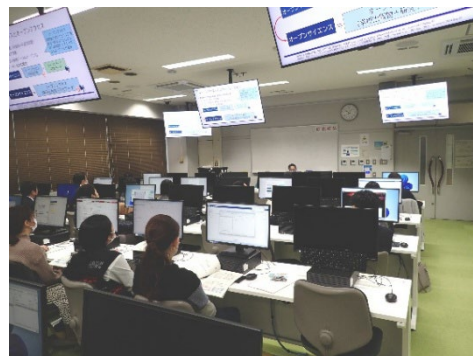


② ハゲタカ情報データベース「Predatory Reports」を導入し、学内にハゲタカジャーナルの注意喚起を行った。

(4) 研究データ管理支援

学内教職員を対象として、研究データ管理に関する研修会「研究データ管理研修：GakuNin RDM 実習」を実施した。横浜国立大学特任教員（助教）・URAの松浦かな氏を講師に招き、研究データに関する政策や、これからの研究活動で求められる研究データ管理、公開について概説した上で、GakuNin RDMの実習を行った。

参加者にとって、研究データ管理、公開を実践するスキルを身につける良い機会となった。(28名参加、3月3日)



(5) オープンアクセス推進体制の整備

オープンアクセスを推進するための学内組織設置について関係部署で検討を行い、令和7年度の設置に向けてワーキンググループを立ち上げ、キックオフミーティング（3月26日）を開催した。

■ 電子ジャーナル

(1) 全学共通経費による電子ジャーナル整備

全学共通経費により、昨年度に引き続きNature（本誌）、Science（本誌）、ACS（American Chemical Society）、ScienceDirect（Elsevier）、SpringerLink（Springer）、CAS SciFinderを維持し、Wiley等のジャーナル9誌を個別購読することで、本学研究基盤を整備した。

(2) 転換契約の締結

学術論文のオープンアクセス化を促進するため、全学共通経費により電子ジャーナルを購読している出版社からの転換契約提案について検討を行った。その結果、令和7年（度）から、ScienceDirect（Elsevier）およびWileyについて転換契約を開始することとした。

■徳島市立図書館との連携

(1) 合同職員研修会

「大学図書館と公共図書館の連携」をテーマとする合同職員研修会を行った。(3名参加、10月1日)



(2) リユースお宝市

趣味の本等の市立図書館処分資料を徳島大学の学生・教職員等に譲渡して再利用するイベントで、本館、蔵本分館の両館で開催した。(本館 21名参加 6月27日～7月3日、蔵本分館 30名参加 7月11日～17日)

(3) 徳島市立図書館内「徳島大学コーナー」への展示協力

「リカレント教育」「栄養と健康」「生活習慣病」の3回のテーマで展示協力を行った。

(4) 移動図書館いずみ号(徳島市立図書館)

常三島地区 10回
蔵本地区 12回



(5) 定期打ち合わせ

定例会(9月メール会議、2月メール会議)及び企画会議(12月)を行い、意見交換や事業計画の検討等を行った。令和6年度に中止した「健康いきいき講座」の代替企画については、徳島市立図書館利用者のニーズを調査して引き続き検討することとなった。

■鳴門教育大学附属図書館及び徳島県立図書館との連携

(1) 巡回展示「ようこそ新紙幣」

徳島県立図書館企画展示で使用したパネルと資料を借り受けて、展示を行った。(10月1日～11月15日)



(2) 図書館職員相互訪問研修

「図書館システムの運営と危機管理」をテーマに、徳島県立図書館にて対面で研修を行った。各館で使用している図書館システムの紹介やシステム障害への対応等について事例報告や情報交換を行ったあと、館内見学を実施した。(3名参加、9月25日)

(3) 定期打ち合わせ

定例会(3月)をオンラインで行い、意見交換や事業計画の検討等を行った。

■附属図書館所蔵「伊能忠敬測量図」が国の重要文化財に指定へ

附属図書館所蔵の「伊能図」3種10点・地図箱2点が、「伊能忠敬測量図(いのうただたかそくりょうず)」の名称で国の重要文化財に指定されることとなった。文化審議会が、令和7年3月21日(金)に開催された同文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に答申したものであり、本学として初の重要文化財指定である。

「伊能図」は、江戸時代、伊能忠敬が日本全国を測量し作成した日本地図の総称である。当初は忠敬による個人事業として始められたが、その後幕府事業として進められ、忠敬の没後、文政4年(1821年)に「大日本沿海輿地(よち)全図」として完成した。

徳島大学附属図書館所蔵の「伊能図」は、文化元年(1804)8月に幕府に上呈された「日本東半部沿海地図」と同系統の中図「沿海地図」3点(縮尺1/216,000)、文化4～8年の第5～7次測量の成果に基づく中図「大日本沿海図稿」4点、第7次測量の成果による大図「豊前国沿海地図」3点(縮尺1/36,000)の合計10点からなる。答申では第7次測量までの成果を網羅する日本全体の沿海地図として類例がなく、作製当初の折畳装の姿を伝えることが評価された。また、各図の合印や切り込みを使用して「沿海地図」と「大日本沿海図稿」を接合することができる一方で、接合個所では同一緯度の度線や海岸線の測線に調整の余地がみられること、地図仕立てにおいて彩色の違いがみられることなど、「大日本沿海輿地全図」の成立過程を考える上でも貴重な資料であるといえる。

本学では、この度の重要文化財指定を受け、今後とも関係機関等と協力しながら、貴重な文化財を後生に残すべく取り組んでいく予定である。

**■ホームページリニューアル**

図書館ホームページについて、従来のWebサーバーによる運用を終了し、図書館システムに組み込んだ形での運用へ移行した。あわせて本館・分館のページを統一し、デザインを刷新するなど、利用者にとってより利便性の高い情報提供を実現するため、全面的なリニューアルを行った。

■チャットボットリニューアル

図書館に関する各種質問に回答する図書館チャットボットを「図書館チャットボット ～タヌキーナ先生に聞いてみよう～」としてリニューアルした。(7月)

従来は学内者限定のサービスとしてTeams上で運用していたが、リニューアルに伴い、学外の利用者にも開放し、デザイン面も刷新され、Webブラウザ上で表示・利用可能な仕様となった。

■古本募金

「徳島大学基金」の一つとして、不要になった本、CD、DVDを寄贈いただき、買取金額を寄附金として受け入れている。

令和6年度は、960冊、約130千円の寄附があった。

寄附の一部は学生用図書の整備に活用し、本館24冊、分館14冊の図書を購入した。

Ⅱ 統計

1 利用・サービス

(1) 開館日・開館時間

		授業期	休業期
本館	平日	8:30-22:00	8:30-17:00
	土	10:00-17:00	10:00-17:00
	日・祝	10:00-17:00	休館
蔵本分館	平日	8:30-21:00	8:30-17:00
	土	10:00-17:00	10:00-17:00
	日・祝	10:00-17:00	休館

*時間外特別利用により、
本館は平日 7 時半から利用可能。
蔵本分館は 8 時から 24 時まで
利用可能。

(2) 年間開館日数及び開館時間数

館名	項目	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		日数	時間数	日数	時間数	日数	時間数
本館	年間開館日数・時間数	326	3,466.75	326	3,481.50	323	3,455.50
	休日開館 (内数)	88	616	90	630	87	609
	時間外開館 (内数)	260	1,433	264	1,456.50	260	1430.75
蔵本分館	年間開館日数・時間数	340	3,564.50	341	3,591.50	338	3,556
	休日開館 (内数)	102	714	103	721	99	693
	時間外開館 (内数)	318	1,524	321	1,538.50	313	1,495.50

*時間外開館は平日 17 時 15 分以降及び休日開館を指す。ただし無人開館は含まない。

(3) 入館者数

館名	区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
本館	教職員	8,405	8,077	7,476
	学生	129,781	181,733	203,766
	学外者	5,856	6,159	6,928
	合計	144,042	195,969	218,170
蔵本分館	教職員	9,281	9,073	9,135
	学生	96,577	123,118	136,318
	学外者	2,708	3,075	3,910
	合計	108,566	135,266	149,363

(4) 利用対象者数 (令和 6 年度)

区 分		人 数
学 生	学部学生	6,008
	大学院生	1,517
	その他	90
教職員		4,277
合計		11,892

学外利用申請者数 (1 日利用含む)

館名	人数
本館	778
蔵本分館	472
合計	1,250

Ⅱ 統計

1 利用・サービス

(5) 貸出

		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数
本館	教職員	2,404	6,052	2,073	5,074	2,322	7,992
	学生	14,768	32,204	14,828	31,401	15,131	31,328
	学外者	1,219	3,576	1,324	3,584	1,342	3,862
	合計	18,391	41,832	18,225	40,059	18,795	43,182
蔵本分館	教職員	2,177	4,768	2,174	4,557	2,147	4,407
	学生	8,355	16,027	8,957	17,150	7,773	14,477
	学外者	518	1,168	639	1,494	691	1,543
	合計	11,050	21,963	11,770	23,201	10,611	20,427

* 貸出条件 学内者：10冊（うち分館の生命科学閲覧室の資料は上限5冊）、14日以内、延長2回まで。

学外者：本館5冊、分館3冊、14日以内、延長2回まで。

(6) 学外文献複写件数

①依頼

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	389	392	258
蔵本分館	552	501	398
合計	941	893	656

②受付

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	165	141	108
蔵本分館	361	231	207
合計	526	372	315

(7) 学外現物貸借件数

①依頼

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	82	84	76
蔵本分館	11	3	12
合計	93	87	88

②受付

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	176	179	151
蔵本分館	32	26	35
合計	208	205	186

(8) レファレンス件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	1,355	1,513	1,311
蔵本分館	1,923	2,388	1,794
合計	3,278	3,901	3,105

(9) 学内文献複写件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	3,779	4,583	4,849
蔵本分館	3,937	2,897	2,922
合計	7,716	7,480	7,771

Ⅱ 統計

1 利用・サービス

(10) ラーニング・コモンズ等利用件数

本館

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
ラーニング・コモンズ	12	78	28	224	23	263
グループ研究室	511	1,091	891	2,820	1,196	3,935
研究個室	409	409	631	631	1,074	1,074
合計	932	1,578	1,550	3,675	2,293	5,272

蔵本分館

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
グループ学習室、 ミーティングルーム	815	815	4,205	11,503	5,421	16,802
合計	815	815	4,205	11,503	5,421	16,802

*本館グループ研究室、分館グループ学習室及びミーティングルームの利用は、遠隔授業受講等の個人利用を含む。

*本館、蔵本分館ともに、ラーニング・コモンズの自由利用についてはカウントしていない。

Ⅱ 統計

1 利用・サービス

(11) 電子ジャーナル利用件数

	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	タイトル数	アクセス数	タイトル数	アクセス数	タイトル数	アクセス数
ACS	64	92, 290	66	106, 236	68	109, 997
Nature	14	42, 731	8	33, 686	8	35, 925
Science	1	9, 777	1	8, 936	1	10, 176
ScienceDirect	2, 303	308, 449	2, 305	307, 109	2, 369	340, 098
SpringerLink	2, 262	87, 580	2, 238	87, 961	2, 192	97, 581
Wiley Online Library	29	106, 226	19	98, 474	13	110, 883
医書.jp オールアクセス ※令和6年7月1日提供開始	－	－	－	－	119	16, 044
合計	4, 673	647, 053	4, 637	642, 402	4, 770	720, 704

(12) データベース利用件数

データベース名称	統計対象	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
CiNii Research	ページ閲覧数	77, 553	108, 632	117, 640
JapanKnowledge Lib	ログイン数	524	568	695
医中誌 Web	ログイン数	12, 556	12, 251	12, 794
化学書資料館	結果表示数	7, 237	7, 377	3, 482
朝日新聞クロスサーチ	ログイン数	875	564	803
日経BP 記事検索サービス	記事表示数	7, 169	6, 269	6, 453
メディカルオンライン	文献入手数	28, 527	29, 442	25, 758
CAS SciFinder (令和 5 年度まで CAS SciFinder [®])	検索数	108, 472	90, 133	83, 843
Scopus	検索数	25, 834	23, 693	23, 985
合計		268, 747	278, 929	275, 453

(13) 電子書籍利用件数

電子書籍名称	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
	タイトル数	アクセス数	タイトル数	アクセス数	タイトル数	アクセス数
Kinokuniya Digital Library(KinoDen)	567	1, 514	688	2, 532	810	2, 652
Maruzen eBook Library	2, 324	8, 167	2, 399	7, 518	2, 617	7, 792
メディカルオンラインイーブックスライブラリー	6, 488	2, 371	7, 868	4, 171	8, 525	5, 311
EBSCOhost eBook Collection	340	1, 724	353	800	381	1, 190
Ovid ※令和 7 年 1 月 27 日提供開始	－	－	－	－	14	78
ProQuest Ebook Central	80	163	92	76	93	35
ScienceDirect	128	205	128	237	141	208
SpringerLink	3, 112	3, 759	3, 112	2, 635	3, 112	3, 007
Wiley Online Library	8	6	8	1	8	3
合計	13, 047	17, 909	14, 648	17, 970	15, 701	20, 276

Ⅱ 統計

1 利用・サービス

(14) 講習会

本館

No.	名称	実施方法	期間	実施回数	参加人数
1	新入生オリエンテーション	対面	R6. 4. 1、3、4	3	733
2	新入生オリエンテーリング	対面	R6. 4. 3	1	180
3	図書館案内ツアー	対面	R6. 4. 15-19、8. 21、12. 19	8	60
4	レポート・論文作成に役立つ資料の探し方講習会	対面、オンライン	R6. 4. 17、4. 30、6. 5、7. 1、10. 18、11. 25、11. 28、11. 29、12. 11	14	64
5	CAS SciFinder 講習会	対面	R6. 6. 27	3	85
6	研究データ管理研修：GakuNin RDM 実習	対面	R7. 3. 3	1	19

蔵本分館

No.	名称	実施方法	期間	実施回数	参加人数
1	新入生オリエンテーション	対面	R6. 4. 1、4. 3	2	162
2	2・3年生、新入院生オリエンテーション	対面	R6. 4. 1、4. 2、4. 5	3	310
3	図書館案内ツアー	対面	R6. 4. 1、4. 5、4. 9、4. 15	4	6
4	看護リカレント教育センターオリエンテーション	対面	R6. 4. 17	1	8
5	希望に応じた講習会	対面	R6. 5. 10	1	39
6	CAS SciFinder 講習会	オンライン	R6. 11. 18	1	16
7	研究データ管理研修：GakuNin RDM 実習	対面	R7. 3. 3	1	9

*医学部保健学科、歯学部、薬学部の新入生オリエンテーションは資料配布のみ。

Ⅱ 統計

2 蔵書

(1) 蔵書数【図書】

年間受入図書冊数

館名	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	和	350,789	351,016	348,199	2,536	2,562	2,874
	洋	131,687	131,153	128,973	205	183	156
	小計	482,476	482,169	477,172	2,741	2,745	3,030
蔵本分館	和	89,606	91,175	92,400	1,562	1,582	1,355
	洋	97,101	97,041	97,088	210	86	65
	小計	186,707	188,216	189,488	1,772	1,668	1,420
合計	和 合 計	440,395	442,191	440,599	4,098	4,144	4,229
	洋 合 計	228,788	228,194	226,061	415	269	221
	合 計	669,183	670,385	666,660	4,513	4,413	4,450

*各年度末現在

*製本雑誌を含む

(2) 蔵書数【雑誌】

年間受入雑誌種類数

館名	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本館	和	9,137	9,113	9,058	570	513	496
	洋	3,577	3,568	3,572	24	20	17
	小計	12,714	12,681	12,630	594	533	513
蔵本分館	和	3,265	3,276	3,275	325	311	290
	洋	3,318	3,316	3,314	13	11	10
	小計	6,583	6,592	6,589	338	322	300
合計	和 合 計	12,402	12,389	12,333	895	824	786
	洋 合 計	6,895	6,884	6,886	37	31	27
	合 計	19,297	19,273	19,219	932	855	813

*各年度末現在

Ⅱ 統計

2 蔵書

(3) 電子書籍

種別	和	洋	計
Kinokuniya Digital Library (KinoDen)	810	0	810
Maruzen eBook Library	2,350	267	2,617
メディカルオンラインイーブックスライブラリー	441	1	442
EBSCOhost eBook Collection	348	33	381
Ovid	0	14	14
ProQuest Ebook Central	0	93	93
ScienceDirect	0	141	141
SpringerLink	0	3,112	3,112
Wiley Online Library	0	8	8
合計	3,949	3,669	7,618

*メディカルオンラインイーブックスライブラリーは年間購読あり(令和7年3月31日現在で8,083タイトル)。

*その他「JapanKnowledge Lib」、「化学書資料館」等もあり。

(4) 電子ジャーナル

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全ジャーナル数	82,502	82,150	6,511
内数 ACS	64	66	68
Nature	14	8	8
Science	1	1	1
ScienceDirect	2,303	2,305	2,369
SpringerLink	2,262	2,238	2,192
Wiley Online Library	29	19	13
医書.jp オールアクセス	-	-	119
合計	4,673	4,637	4,770

*全ジャーナル数は令和5年度までは無料タイトルを含む。令和6年度は契約タイトルのみ。

*医書.jp オールアクセスは令和6年7月1日に提供開始。

(5) 徳島大学機関リポジトリ

種別	登録数
学術雑誌論文	7,433
学位論文	1,386
紀要論文	1,944
会議発表論文	14
会議発表用資料	15
図書	20
テクニカルレポート	140
研究報告書	81
一般雑誌記事	805
その他	712
合計	12,550

*「その他」にはプレプリント2件、近世古地図・絵図コレクション214件、山西家文書74件を含む。

Ⅱ 統計

3 施設・設備

(1) 施設について（令和7年3月31日現在）

	サービススペース			管理 スペース	総延面積	収納可能冊数
	閲覧スペース	アクティブ・ラーニング・スペース	その他			
本館	1,796	514	526	2,276	5,112	56.0万冊
蔵本分館	884	278	763	1,242	3,167	29.6万冊
合計	2,680	792	1,289	3,518	8,279	85.6万冊

*アクティブ・ラーニング・スペースの対象は次のとおり。

本館：カフェテリア、ラーニング・コモンズ（マルチメディアコーナー、グループ研究室含む）、多目的ホール(1)

分館：ラーニング・コモンズ、グループ学習室、ミーティングルーム

(2) 座席数 【本館】

階	室名	座席数	備考
1	カフェテリア	48	
	新着雑誌コーナー	5	
	1階ホール	3	
	グループ研究室	16	
	ラーニング・コモンズ	92	
	1階マルチメディアコーナー	34	
	サービスカウンター	0	
	事務室（1階）	0	
	1階西書庫	0	
	小計	198	
2	2階東閲覧室	112	
	2階学習室	63	車椅子用1
	2階西閲覧室	74	
	研究個室	5	
	和装本資料室	2	
	マイクロ資料室	1	
	小計	257	
3	3階東閲覧室	64	
	3階ホール	21	車椅子用1
	研究個室	3	
	3階資料室	10	
	多目的ホール	87	
	事務室（3階）	0	
	小計	185	
積層	第3層～第4層	0	
	小計	0	
合計		640	

【蔵本分館】

階	室名	座席数	備考
1	事務室	0	
	南書庫	4	
	資料室	0	
	ラーニング・コモンズ	42	
	リフレッシュコーナー	18	
	サービスカウンター	0	
	雑誌書庫	0	
	新着雑誌コーナー	0	
	複写コーナー	0	
	小計	64	
2	視聴覚コーナー	3	
	マルチメディアルーム	42	
	生命科学閲覧室	88	
	中央閲覧室	40	
	北学習室	104	
	南学習室	48	
	グループ学習室1	10	
	グループ学習室2	10	
	グループ学習室3	8	
	グループ学習室4	8	
	ミーティングルーム1	16	
	ミーティングルーム2	16	
	ブラウジングコーナー	0	
	小計	393	
合計		457	

Ⅱ 統計

4 経費

(1) 大学総経費に占める大学資料費の推移

単位：千円

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
大学総経費		50,918,705	49,571,920	51,643,086
大学資料費	図書	17,569	16,434	16,088
	雑誌	13,366	13,948	14,565
	電子ジャーナル	150,816	155,151	159,531
	電子書籍	14,149	9,225	3,199
	データベース	20,480	21,117	21,769
	その他	768	1,886	2,114
	合計	217,148	217,761	217,266
大学総経費に占める大学資料費の割合		0.43%	0.44%	0.42%

* 大学資料費は、図書館で購入手続きした学内資料費を計上しており、図書館以外の研究費購入等も含む。
(学術情報基盤実態調査回答に基づく)

(2) 学生用図書費の推移

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	合計	学生1人当たり	合計	学生1人当たり	合計	学生1人当たり
学生用図書購入金額	1,670 万円	2,258 円	1,655 万円	2,220 円	1,435 万円	1,928 円
学生用図書購入冊数	3,880 冊	0.52 冊	4,017 冊	0.54 冊	3,750 冊	0.50 冊
(同規模大学平均)		(0.55 冊)		(0.48 冊)		(未公表)
学生数 (正規生)	7,395 人		7,456 人		7,442 人	

* 同規模大学平均は、学術情報基盤実態調査（文部科学省）における学部数による区分に基づく。

* 学生用図書購入冊数の外数として電子書籍を令和4年度 639 冊（学長裁量経費による購入分を含む）、令和5年度 230 冊、令和6年度 486 冊（学長裁量経費による購入分を含む）購入。

(3) 令和6年度の主な施設整備及び環境整備等

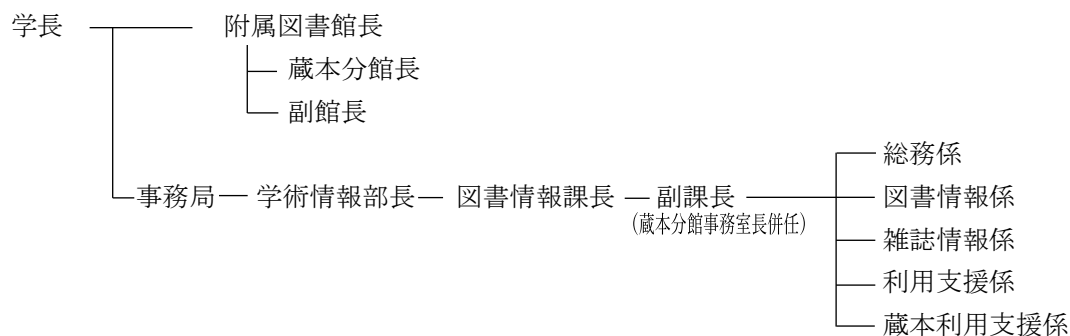
- ・屋上防水補修工事（本館） 2,145 千円
- ・和装本資料室他除湿器取設工事（本館） 1,632 千円
- ・グループ学習室椅子 7 台（分館） 156 千円
- ・北学習室電源増設工事（分館） 44 千円
- ・2階西閲覧室他照明設備改修工事（本館） 2,896 千円（省エネ対策事業）
- ・生命科学閲覧室他照明設備改修工事（分館） 1,764 千円（省エネ対策事業）
- ・ラーニング・コモンズ椅子 20 台（本館・分館） 464 千円（学生後援会環境美化）
- ・グループ学習用モニター・モニタースタンド（分館） 139 千円（学生後援会環境美化）
- ・自動貸出装置・ブックチェックユニット（本館・分館） 12,496 千円（引当特定資産制度）

Ⅲ 運営体制

1 組織

組織及び職員（令和7年3月31日現在）

組織機構



職員数

	常勤職員	非常勤職員 (パート)	合計
本館			
部長	1		1
課長	1		1
総務係	1	1	2
図書情報係	1	2	3
雑誌情報係	3	2	5
利用支援係	2	3(6)	5(6)
小計	9	8(6)	17(6)
蔵本分館			
副課長(室長併任)	1		1
蔵本利用支援係	3	3(6)	6(6)
小計	4	3(6)	7(6)
合計	13	11(12)	24(12)

() 内は時間外開館要員：外数

Ⅲ 運営体制

2 自己点検・評価

令和6年度徳島大学附属図書館運営の内部質保証に関する自己点検・評価の結果

令和6年度第5回附属図書館運営委員会承認

(1) 学術情報(資料)の整備状況

電子ジャーナルについては、全学共通経費による整備方針に基づき、2025年1月より Springer のパッケージ契約を中止した。一方エルゼビア、Wiley については、運営委員会審議に基づき、購読契約とオープンアクセス出版をセットにした転換契約 (Read & Publish) を締結した。これにより Wiley は、これまでの個別購読からパッケージ購読に変更となり、利用可能数が大幅に増加した。また、蔵本地区の学生用資料として医学系国内電子ジャーナルパッケージである医書.jp を導入した。電子ジャーナル利用可能タイトルは、昨年度より 300 誌ほど多い約 6,600 誌が利用可能となっている。

電子書籍については、学長裁量経費等により約 440 タイトルを購入した他、医学部等の経費によるサブスクリプション契約を今年度も継続し、合計約 15,500 冊が学内外から利用できるよう整備した。

学生用図書は年間を通じてリクエストに対応している他、昨年度に再開した書店でのブックハンティングを4回(他に web での選書を1回)実施し、学生のニーズに即した選書体制を継続している。

(2) 図書館の利用状況

本館、分館ともに、令和7年2月時点で、昨年度の年間入館者数を上回っており、来館利用は順調に回復している。

グループ学習室の利用実績についても、本分館ともに、令和5年度より増加している。

学生一人当たりの貸出数、電子書籍・電子ジャーナルのアクセス数は、順調に推移している。

(3) 図書館の施設・設備の整備状況

本館では、和装本資料室・貴重資料室の保管環境改善のため、業務用除湿器を設置した。

分館では、BYOD の支援強化として、2階閲覧室等の電源コンセントの交換及び増設を行った。また、ラーニング・コモンズにグループ学習用モニターを設置するとともに、机仕切りを一部撤去し、アクティブラーニングへの支援を強化した。

本館の2階西閲覧室、分館の生命科学閲覧室、中央閲覧室、南学習室の電灯について、3月中にLED化を行う予定としている。また、本学の引当特定資産制度により、本館、分館の図書自動貸出・返却装置について更新を行った。

(4) 図書館に対する満足度の状況

令和6年度図書館アンケートは、図書や電子書籍、電子ジャーナル等の資料の満足度、貸出日数・期間、Wi-Fi 環境等のサービス・設備の満足度ともに、令和5年度より若干低下する結果となった。利用の増加に伴い、要望が増えていると考えられるが、設備の一部、電子ジャーナルを除き、いずれも満足度は80%を超えており、特に令和6年度学生の学修に関する実態調査報告書においては、図書館の設備(蔵書やレファレンスサービス)について、1年では87%が「とても満足」又は「満足」と回答し、高い満足度を示している。なお、アンケート等で寄せられた意見のうち、自動貸出装置のレシート発行の改善(利用者が発行を選択できるよう設定変更)など、直ぐに実施可能な事項は即時対応している。

(5) その他必要と認められる事項

本学のオープンアクセスを推進するため、文部科学省「オープンアクセス加速化事業(令和5年度補正予算:人工知能等社会実装研究拠点事業補助金)」に申請し、採択された。これにより APC 補助制度、ハゲタカジャーナルを検索できるデータベース Predatory Reports 導入、リポジトリシステムのリニューアル、山西家文書のデジタル化による公開、オープンアクセス講演会等を実施した。

昨年公開した学内者向けオンライン窓口(チャットボット)をリニューアルし、令和6年7月から学外の方も利用できるものに一新した。

本学所蔵の希少な資料である「山西家文書」「喜田貞吉関係資料」について、より適切な資料管理、利用提供を行うため、貴重資料に指定した。

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

(1) 附属図書館運営委員会

第1回附属図書館運営委員会（オンライン）

日時：令和6年6月26日（水）14:00～15:05

議題：1 附属図書館自己点検・評価専門委員会委員の選出について

2 図書の処分について

報告：1 令和5年度附属図書館決算について

2 「オープンアクセス加速化事業」の公募について

3 電子ジャーナルパッケージ（SpringerLink）の契約中止について

4 令和5年度徳島大学機関リポジトリ登録状況等報告について

5 オープンアクセス出版契約の提案状況について

6 図書館ホームページのリニューアルについて

7 引当特定資産制度に係る事業の実施について

8 会議等報告について

(1) 第51回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会について（4/19）

(2) 第72回中国四国地区大学図書館協議会総会について（5/17-31 書面審議）

9 授業サポートナビについて

10 電子書籍試読サービスの実施について

11 図書館利用統計について

12 「徳島大学古本募金」実績について

13 令和6年度オリエンテーション等実施結果について

第2回附属図書館運営委員会（オンライン）

日時：令和6年10月15日（火）16:00～17:30

議題：1 全学共通経費による電子ジャーナル等整備について

(1) 転換契約の導入について

(2) SciFinder の継続について

2 図書の処分について

報告：1 オープンアクセス加速化事業の進捗状況について

2 電子書籍試読サービスの実施について

3 Gale Academic OneFile 及びルーラル電子図書館のトライアルの実施について

第3回附属図書館運営委員会（オンライン）

日時：令和6年12月25日（水）16:00～16:55

議題：1 次期附属図書館長候補者の推薦について

(1) 館長候補適任者の選定について

(2) 館長候補者の選出について

2 徳島大学附属図書館常三島地区運営委員会規約の一部改正について

3 令和7年度全学共通経費の申請について

4 図書の処分について

5 「山西家文書」及び「喜田貞吉関係資料」の貴重資料指定について

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

- 報告：1 令和6年度学内予算追加配分について
2 今後の電子ジャーナル等整備について
3 Wiley 転換契約（Read&Publish）の締結に伴う学術論文のオープンアクセス出版について
4 電子ジャーナルパッケージ（SpringerLink）の契約中止後の利用について
5 徳島大学機関リポジトリシステムの移行について
6 Gale Academic OneFile及びブルーラル電子図書館のトライアル実施結果について

第4回附属図書館運営委員会（メール会議）

日時：令和7年2月7日（金）～令和7年2月17日（月）

- 議題：1 徳島大学におけるオープンアクセス推進室（仮称）設置に向けたワーキンググループ（オープンアクセス推進組織設置 WG）の設置について

第5回附属図書館運営委員会（オンライン）

日時：令和7年3月24日（月）14:00～14:40

- 議題：1 附属図書館副館長の選考について
2 令和6年度附属図書館運営の内部質保証に関する自己点検・評価について
3 令和7年度附属図書館予算について
4 徳島大学附属図書館転換契約によるオープンアクセス支援実施要領の制定について
5 徳島大学機関リポジトリ運用指針の一部改正について
- 報告 1 附属図書館長の選考結果について
2 オープンアクセス加速化事業の実施結果について
3 令和7年度学長裁量経費について
4 令和7年度全学共通経費による購読ジャーナルについて
5 令和6年電子ジャーナル利用統計について
6 転換契約（Read&Publish）締結に伴う学術論文のオープンアクセス出版について
7 図書館ホームページのリニューアルについて
8 令和6年度附属図書館アンケート結果報告について
9 令和6年度常三島地区運営委員会及び蔵本分館運営委員会報告について
10 Study Support Space 活動報告について
11 令和6年度徳島市立図書館との連携事業報告について
12 令和6年度鳴門教育大学附属図書館及び徳島県立図書館との連携事業報告について
13 令和7年度附属図書館開館時間について（開館カレンダー）
14 令和7年度各種講習会実施計画について
15 徳島大学古本募金について

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

附属図書館運営委員会名簿（令和7年3月31日現在）

部局	職 名	氏 名	任期
附属図書館	附属図書館長	大 高 章	5.4.1～7.3.31
附属図書館	蔵本分館長	西 村 明 儒	6.4.1～8.3.31
附属図書館	副館長	依 岡 隆 児	6.4.1～7.3.31
附属図書館	副館長	上 田 哲 史	6.4.1～7.3.31
総合科学部	教授	堤 和 博	5.4.1～7.3.31
総合科学部	教授	佐久間 亮	6.4.1～8.3.31
医 学 部	教授	池 田 康 将	6.4.1～8.3.31
医 学 部	教授	岡 久 玲 子	6.4.1～8.3.31
歯 学 部	教授	川 人 伸 次	6.4.1～8.3.31
歯 学 部	教授	濱 田 賢 一	6.4.1～8.3.31
薬 学 部	教授	南 川 典 昭	6.4.1～8.3.31
薬 学 部	教授	佐 野 茂 樹	6.4.1～8.3.31
理工学部	教授	松 本 健 志	6.4.1～8.3.31
理工学部	教授	小笠原 正道	6.4.1～8.3.31
生物資源産業学部	教授	榎 元 廣 文	6.4.1～8.3.31
生物資源産業学部	教授	刑 部 敬 史	6.4.1～8.3.31
教養教育院	准教授	古 屋 玲	6.4.1～8.3.31
先端酵素学研究所	教授	大 東 いずみ	6.4.1～8.3.31
先端酵素学研究所	教授	水 谷 清 人	6.4.1～8.3.31
人と地域共創センター	准教授	鈴 木 尚 子	5.4.1～7.3.31
情報センター	教授	上 田 哲 史（併）	6.4.1～8.3.31
高等教育研究センター	准教授	坂 田 浩	6.4.1～8.3.31
病 院	教授	石 澤 啓 介	6.4.1～8.3.31

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

(2) 附属図書館自己点検・評価専門委員会

第1回附属図書館自己点検・評価専門委員会（メール会議）

期間：令和6年10月3日（木）～10月11日（金）

議題：1 令和6年度附属図書館運営の内部質保証に関する自己点検・評価の実施について
2 令和6年度図書館アンケートについて

第2回附属図書館自己点検・評価専門委員会（メール会議）

期間：令和7年2月28日（金）～3月10日（月）

議題：1 令和6年度附属図書館運営の内部質保証に関する自己点検・評価について

附属図書館自己点検・評価専門委員会名簿（令和7年3月31日現在）

部局	職 名	氏 名	任期
附属図書館	館長	大 高 章	
附属図書館	分館長	西 村 明 儒	
附属図書館	副館長	依 岡 隆 児	
附属図書館	副館長	上 田 哲 史	
常三島地区	教授	小笠原 正 道	6.4.1～7.3.31
常三島地区	教授	榎 元 廣 文	6.4.1～7.3.31
蔵本地区	教授	濱 田 賢 一	6.4.1～7.3.31
蔵本地区	教授	佐 野 茂 樹	6.4.1～7.3.31
学術情報部	部長	濱 田 光 男	

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

(3) 附属図書館常三島地区運営委員会

第1回附属図書館常三島地区運営委員会（オンライン）

日時：令和6年6月5日（水）13：00～13：50

- 議題：1 附属図書館常三島地区運営委員会委員長の選出について
2 2025年度常三島地区コアジャーナルの選定について
3 令和6年度附属図書館（本館）学生用図書選定について

第2回附属図書館常三島地区運営委員会（オンライン）

日時：令和6年7月24日（水）13：00～13：50

- 議題：1 令和6年度附属図書館（本館）学生用図書選定について

附属図書館常三島地区運営委員会名簿（令和7年3月31日現在）

部局	職名	氏名	任期
総合科学部	教授	堤 和 博	5.4.1～7.3.31
総合科学部	教授	佐久間 亮	6.4.1～8.3.31
理工学部	教授	松 本 健 志	6.4.1～8.3.31
理工学部	教授	小笠原 正道	6.4.1～8.3.31
生物資源産業学部	教授	榎 元 廣 文	6.4.1～8.3.31
生物資源産業学部	教授	刑 部 敬 史	6.4.1～8.3.31
教養教育院	准教授	古 屋 玲	6.4.1～8.3.31
人と地域共創センター	准教授	鈴 木 尚 子	5.4.1～7.3.31
情報センター	教授	上 田 哲 史	6.4.1～8.3.31
高等教育研究センター	准教授	坂 田 浩	6.4.1～8.3.31

Ⅲ 運営体制

3 委員会活動

(4) 附属図書館蔵本分館運営委員会

第1回附属図書館蔵本分館運営委員会

日時：令和6年6月20日（木）15:00～16:00

議題：1 2025年蔵本地区コアジャーナルについて

- (1) 2025年度（令和7年度）蔵本地区コアジャーナルの予算上限について
- (2) Wiley社の元蔵本地区コアジャーナルの購入について
- (3) 予算内でのジャーナル購入追加等調整の可否について
- (4) Development誌等のRead & Publish契約の継続について

2 令和6年度蔵本分館学生用図書選定方針について

報告：1 SpringerLinkの契約中止に伴う蔵本地区コアジャーナルへの影響について

2 2024年蔵本地区コアジャーナルについて

3 蔵本分館における学修支援について

第2回附属図書館蔵本分館運営委員会（メール会議）

日時：令和6年7月22日（月）～8月5日（月）

議題：1 医書.jp オールアクセスの導入に伴う蔵本地区コアジャーナルの取り扱いについて

- (1) 医書.jp オールアクセスで閲覧可能な蔵本地区コアジャーナルの購読中止について
- (2) 蔵本地区コアジャーナルの購読中止に伴う2024年度蔵本地区コアジャーナル経費削減額の取り扱いについて
- (3) 2025年度蔵本地区コアジャーナル経費の負担額について
- (4) 新たに蔵本地区コアジャーナルの雑誌が医書.jp オールアクセスで閲覧可能となった場合の取り扱いについて

附属図書館蔵本分館運営委員会名簿（令和7年3月31日現在）

部局	職名	氏名	任期
附属図書館	蔵本分館長	西村 明 儒	6.4.1～8.3.31
医学部	教授	池田 康 将	6.4.1～8.3.31
医学部	教授	岡久 玲 子	6.4.1～8.3.31
歯学部	教授	川人 伸 次	6.4.1～8.3.31
歯学部	教授	濱田 賢 一	6.4.1～8.3.31
薬学部	教授	南川 典 昭	6.4.1～8.3.31
薬学部	教授	佐野 茂 樹	6.4.1～8.3.31
先端酵素学研究所	教授	大東 いずみ	6.4.1～8.3.31
先端酵素学研究所	教授	水谷 清 人	6.4.1～8.3.31
病 院	教授	石澤 啓 介	6.4.1～8.3.31

Ⅲ 運営体制

4 職員研修等

(1) 図書館協会会議等

期間	内容	参加者数
R6. 4. 19	第 51 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会	3
R6. 5. 17-31	第 72 回中国四国地区大学図書館協議会総会（書面審議・オンライン投票）	1
R6. 5. 24	日本医学図書館協会第 95 回通常総会（書面表決）	1
R6. 7. 9-10	第 71 回国立大学図書館協会総会	2
R6. 11. 13	第 60 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会	1
R6. 11. 15	令和 6 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議	1
R6. 12. 6	令和 6 年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議	2
R7. 3. 13-21	令和 6 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会（メール会議）	1

(2) 学外職員研修等

期間	内容	参加者数
R6. 5. 13	情報システム統一研修（令和 6 年度第 1/四半期）（オンライン）	1
R6. 5. 15-17	令和 6 年度大学人・社会人としての基礎力要請プログラム研修(レベル 1)	1
R6. 5. 22	公文書管理研修 I（独法等向け第 1 回）（オンライン）	1
R6. 5. 29	令和 6 年度四国地区メンター養成研修（オンライン）	1
R6. 6. 7	研究データエコシステム東海コンソーシアム第 3 回セミナー（オンライン）	2
R6. 6. 11-13	国立情報学研究所オープンフォーラム 2024（オンライン）	4
R6. 7. 12	JUSTICE 電子資料契約実務研修会（オンライン）	1
R6. 9. 13	令和 6 年度第 2 回徳島県図書館職員研修会（オンライン）	1
R6. 9. 25	令和 6 年度図書館職員相互訪問研修	3
R6. 10. 1	徳島市立図書館との合同研修会	3
R6. 12. 3	診療ガイドライン講演会（オンライン）	1
R6. 12. 10	2024 年度大学図書館シンポジウム「2030「デジタル・ライブラリー」の実現に向けた取り組み」（オンライン）	4
R6. 12. 13	学術情報流通に関する連続セミナー第 7 回 「オープンアクセス時代の責任ある研究・イノベーションと研究者の実像」（オンライン）	1
R6. 12. 16	令和 6 年度国立大学図書館協会助成事業（中国四国地区）講演会「大学図書館と防災～南海トラフ地震に備える」（オンライン）	5
R7. 1. 10	公開勉強会「研究成果の可視化と大学図書館」	1
R7. 1. 29	三重大学オープンサイエンス推進セミナー「学術雑誌のいま、論文発表のこれから。」（オンライン）	3
R7. 2. 13	令和 6 年度 徳島県図書館大会（オンライン）	2

Ⅲ 運営体制

4 職員研修等

期間	内容	参加者数
R7. 3. 13	オープンサイエンス加速化事業シンポジウム「守る知、開く知～オープンサイエンスで未来を創る～」(オンライン)	3
R7. 3. 18	三重大学オープンサイエンス推進シンポジウム「学術データの管理と共有、未来への課題—科研費等の動向を踏まえて—」(オンライン)	1

(3) 学内職員研修等

期間	内容	参加者数
R6. 4. 11	令和 6 年度徳島大学新任教職員研修会	1
R6. 5. 1-7. 31	令和 6 年度徳島大学個人情報保護研修 (オンデマンド)	全職員
R6. 6. 28	令和 6 年度 SPOD 加盟校内講師派遣プログラム「組織の力を引き出す観察力養成講座」	1
R6. 9. 2-10. 31	令和 6 年度ハラスメント研修 (オンライン)	全職員
R6. 9. 20	徳島大学広報研修会	3
R6. 9. 26-27	令和 6 年度徳島大学パソコン講習会	4
R6. 10. 29	メンタルヘルス研修会 (オンライン)	1
R6. 11. 8	「心のサポーター」養成講座	1
R6. 12. 5	生成 AI ハンズオンセミナー	1

(4) 安全管理訓練等

防災訓練等

期間	内容	参加者数
R6. 10. 23	避難所立ち上げ訓練	3
R6. 11. 7	救命救急講習会 (AED 操作、人事課職員係主催)	1
R6. 11. 22	無線機操作訓練	3
R7. 1. 27	令和 6 年度非常用発電機操作訓練 (常三島地区)	2
R7. 3. 19	初動救出訓練	2

Ⅳ 行事

図書館の主な行事

月日	行事	写真
4月		 
1	資料展示「科学道 100 冊」[本館] (～8 月 1 日)	
1	資料展示「新入生にすすめる私のこの一冊」[本館] (～12 月 17 日) 【写真】	
1	新入生オリエンテーション (医学部医学科・生物資源産業学部、対面)	
1	2・3 年生オリエンテーション (医学部医学科 2・3 年生、対面)	
1	図書館案内ツアー[分館] (～4 月 15 日)	
2	2 年生オリエンテーション (医学部医科栄養学科 2 年生、対面)	
3	新入生オリエンテーション (医学部医科栄養学科、理工学部 (～4 月 4 日)、対面)	
3	新入生オリエンテーリング (総合科学部、対面)	
5	新入院生オリエンテーション (歯学部大学院生、対面)	
15	図書館案内ツアー [本館] (～12 月 19 日)	
15	Study Support Space (SSS) 開室 (～8 月 2 日、10 月 7 日～2 月 7 日)	
17	「レポート・論文作成に役立つ資料の探し方」講習会 (ゼミ単位) (対面) [本館] (～10 月 18 日)	
17	新入生オリエンテーション (看護リカレント教育センター受講生、対面)	
18	徳島市立図書館移動図書館「いずみ」号巡回 ([本館] 4 月 30 日～3 月 11 日、[分館] 4 月 18 日～3 月 18 日)	
19	第 51 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会	
5月		
10	希望に応じた講習会 (歯学部歯学科 3 年生、対面) 【写真】	
29	第 99 回テーマ展示「電子書籍・電子ジャーナル 2024」[分館] (～7 月 25 日)	
6月		
1	電子書籍試読サービス (第 1 回) 実施 (～7 月 31 日)	
5	第 1 回附属図書館常三島地区運営委員会 (オンライン)	
17	ブックハンティング (大学生協しょこら) [分館] (～6 月 21 日)	
20	第 1 回附属図書館蔵本分館運営委員会 (オンライン)	
24	資料展示「徳島の高校・大学生が選ぶこれだけは読んでほしい 31 冊」[本館] (～12 月 23 日)	
26	第 1 回附属図書館運営委員会 (オンライン)	
27	CAS SciFinder 講習会 [本館]	
27	徳島大学附属図書館と徳島市立図書館の連携協定に基づく連携事業「リユースお宝市」([本館] 6 月 27 日～7 月 3 日 [分館] 7 月 11 日～7 月 17 日) 【写真】	





Ⅳ 行 事

図書館の主な行事

月日	行事	写真	
7 月			
1	医学・医療分野の電子ジャーナル「医書.jp オールアクセス」の提供開始		
1	図書館チャットボットリニューアル公開【写真】		
4	オープンアクセス加速化事業（令和 5 年度補正予算：人工知能等社会実装研究拠点事業補助金）採択		
16	ブックハンティング（Web 選書）[分館]（～8 月 26 日）		
22	第 2 回附属図書館蔵本分館運営委員会（メール会議）（～8 月 5 日）		
24	第 2 回附属図書館常三島地区運営委員会（オンライン）		
26	第 100 回テーマ展示「生活習慣病」[分館]（～10 月 31 日）【写真】		
8 月			
19	図書資産台帳と現品の実査（蔵本分館内図書）（～8 月 30 日）		
26	オープンアクセス出版費用（APC）補助制度実施（～12 月 20 日）		
9 月			
3	図書資産台帳と現品の実査（本館内図書）（～9 月 30 日）		
25	鳴門教育大学附属図書館、徳島県立図書館との図書館職員相互訪問研修（徳島県立図書館）		
10 月		 	
1	徳島県立図書館企画展示「ようこそ新紙幣」巡回展示 [本館]（～11 月 15 日）【写真】		
1	徳島市立図書館との合同職員研修会（市立図書館）		
1	電子書籍試読サービス（第 2 回）実施（～12 月 31 日）		
9	ラーニング・コモンズ椅子の一部更新 [本館]（分館は 10 月 11 日）【写真】		
15	第 2 回附属図書館運営委員会（オンライン）		

Ⅳ 行事

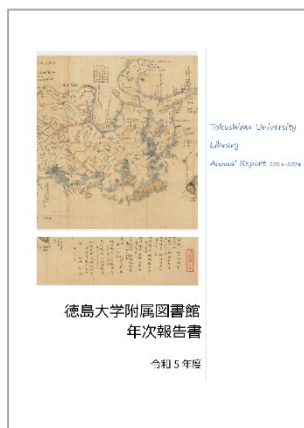
図書館の主な行事

月日	行事	写真
11 月		
1	第 101 回テーマ展示「神経疾患とその周辺領域」[分館]（～1 月 9 日）	
13	第 60 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会（対面+オンライン）	
15	令和 6 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議	
17	全国大学ビブリオバトル 2024 四国 B ブロック決戦（ハイブリッド）	
18	ブックハンティング（久米書店）[分館]（～12 月 1 日）【写真】	
18	CAS SciFinder 講習会（オンライン）[分館]	
25	「レポート・論文作成に役立つ資料の探し方」講習会（個人参加講習会）（対面、オンライン）[本館]（～12 月 11 日）	
25	ブックハンティング（徳大生協常三島店）[本館]（～11 月 29 日）	
12 月		
6	令和 6 年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議	
12	ブックハンティング（紀伊國屋書店徳島店）[本館・蔵本分館合同]【写真】	
17	資料展示「ブックハンティング」[本館]（～4 月 22 日）	
23	防災関連図書展示（～2 月 7 日）[本館]【写真】	
25	第 3 回附属図書館運営委員会（オンライン）	
1 月		
10	第 102 回テーマ展示「解剖学」[分館]（～3 月 31 日）	
23	「オープンアクセスの意義と動向：義務化、OA 雑誌、そしてハゲタカ etc.」講演会（ハイブリッド開催）	
2 月		
6	機関リポジトリシステム JAIRO Cloud へ移行	
7	第 4 回附属図書館運営委員会（メール会議）（～2 月 17 日）	
3 月		
3	「研究データ管理研修-GakuNin RDM 実習」	
24	第 5 回附属図書館運営委員会（オンライン）	
25	附属図書館ホームページリニューアル【写真】	

V 広報

1 出版物等

- 令和5年度徳島大学附属図書館年次報告書（令和6年8月）
- 新入生にすすめる私のこの一冊（令和6年4月）
- 徳島大学附属図書館本館利用案内、徳島大学附属図書館蔵本分館利用案内（令和6年4月）



V 広報

2 報道等

掲載日等	誌名等	記事名
R6. 4. 20	徳島新聞	武蔵の弟子どんな人 (記事中で「蜂須賀家家臣成立書并系図」の記述内容が紹介された)
R6. 10. 18	文教速報	徳島大図書館が市立図書館と合同職員研修会
R6. 10. 21	文教ニュース	徳島大学附属図書館 徳島市立図書館合同職員研修会
R7. 2. 17	文教ニュース	徳島大学附属図書館 講演会「OAの意義と動向」
R7. 2. 19	文教速報	OAの意義と動向 徳島大図書館で講演会
R7. 3. 17 (3. 21 解禁)	徳島大学記者会見	附属図書館所蔵「伊能忠敬測量図」が国の重要文化財に指定へ

徳島大学附属図書館の理念・目標と評価指標

1. 附属図書館の理念

徳島大学附属図書館は、徳島大学の理念・目標を実現するため、徳島大学の教育・学修と研究活動を支える重要な学内組織としての役割を担うとともに社会にも開かれた図書館として、学生等利用者の来館型図書館・参加型図書館を目指します。

2. 附属図書館の目標

- (1) 附属図書館は、学生、教職員及び地域住民のニーズを把握し、質の高い利用者サービスの提供に努めます。
- (2) 附属図書館は、学生の主体的な学習に必要な資料を整備するとともに学習形態に即した利用空間・利用環境の提供に努めます。
- (3) 附属図書館は、徳島大学の教育・研究を支える最新の学術情報資料を整備し、多様な学術情報資源の効率的な収集及び管理を行い、学術情報提供の最適化に努めます。
- (4) 附属図書館は、徳島大学における教育・研究成果を積極的に集積し、発信することにより、学術情報の流通推進と国立大学としての社会的責任（教育研究成果の還元、情報公開）を果たせるよう努めます。
- (5) 附属図書館は、所蔵資料の公開等を通じて、地域社会の文化振興に努めます。

3. 附属図書館の評価

教育・学修支援に軸足を置いた図書館運営を評価する主体は、学生である。また、附属図書館が、上質の図書館サービスを提供する利用者来館型図書館・利用者参加型図書館を目指していることから、(1)図書館の利用状況と(2)図書館に対する満足度の2項目を図書館運営の評価指標とします。

学生の学習に関する実態調査（ラーニングライフ）又は学生生活実態調査（キャンパスライフ）において、(1)図書館の利用状況と(2)図書館に対する満足度を調査、分析、評価し附属図書館の運営に反映させていきます。

（平成 26 年 3 月 14 日附属図書館運営委員会決定）



Tokushima University Library Annual Report 2024-2025

令和 6 年度徳島大学附属図書館年次報告書

令和 7 年 11 月 発行

発行 徳島大学附属図書館

〒770-8507 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

TEL (088)656-7584 FAX (088)656-7587

編集 国立大学法人徳島大学学術情報部図書館情報課

ホームページ <https://opac.lib.tokushima-u.ac.jp/library/>